

○熊本市公民館条例施行規則〔生涯学習課〕

昭和26年9月22日

規則第20号

改正 昭和41年6月16日教委規則第9号
昭和47年7月17日教委規則第6号
昭和51年7月26日教委規則第9号
昭和52年6月30日教委規則第5号
昭和57年10月28日教委規則第5号
昭和62年4月27日教委規則第7号
平成3年2月1日教委規則第4号
平成3年3月1日教委規則第6号
平成5年3月26日教委規則第4号
平成6年11月30日教委規則第11号
平成7年4月1日教委規則第14号
平成7年4月25日教委規則第18号
平成11年3月29日教委規則第17号
平成11年4月1日教委規則第22号
平成12年3月29日教委規則第6号
平成13年3月30日教委規則第10号
平成13年6月1日教委規則第21号
平成14年3月29日教委規則第5号
平成14年9月27日教委規則第12号
平成14年9月30日教委規則第13号
平成15年3月27日教委規則第3号
平成15年7月25日教委規則第11号
平成17年3月30日教委規則第3号
平成18年2月23日教委規則第1号
平成19年6月27日教委規則第8号
平成20年3月25日教委規則第8号
平成20年10月1日教委規則第16号
平成22年3月19日教委規則第7号

平成24年1月26日教委規則第7号
平成24年9月28日教委規則第17号
平成25年4月30日教委規則第6号
平成25年10月30日教委規則第11号
平成26年10月28日教委規則第7号
平成27年1月27日教委規則第2号
平成27年3月20日教委規則第10号
平成30年6月29日教委規則第8号
令和4年12月27日教委規則第17号
令和4年12月27日教委規則第18号

(目的)

第1条 公民館は、市民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の生活文化の振興及び社会福祉の増強を図ることを目的とする。

(平14教委規則12・平14教委規則13・一部改正)

(事業)

第2条 公民館は、前条の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 定期講座を開設すること。
- (2) 討論会、講習会、実習会及び展示会を開催すること。
- (3) 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- (4) 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- (5) 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- (6) 施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

(平14教委規則13・平20教委規則8・一部改正)

(職員)

第3条 公民館に館長、社会教育主事を置く。

2 前項のほか、公民館に必要な職員を置くことができる。

(平7教委規則14・全改、平11教委規則22・一部改正)

(専決)

第4条 公民館長は、次に掲げる事項を専決することができる。

- (1) 所属職員の事務分担、服務及び旅行命令に関すること。
- (2) 公民館の使用許可及びその取消しに関すること。

- (3) 公民館の事業の企画及び実施に関すること。
- (4) 定例的な所管事務に係る経由、進達、申請、報告、照会、回答及び通知に関すること。

(平20教委規則 8・全改、平24教委規則 7・一部改正)

(開館時間の範囲)

第5条 公民館（熊本市中央公民館駐車場（以下「駐車場」という。）及び熊本市中央公民館自転車駐車場（以下「駐輪場」という。）を除く。次条において同じ。）の開館時間は、午前8時30分から午後10時までとする。

- 2 駐車場及び駐輪場の開館時間は、午前0時から午後12時までとする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、公民館の施設、駐車場及び駐輪場を使用できる時間は、別表に定めるとおりとする。
- 4 前3項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。
- 5 公民館の陶芸室は、引き続き6日間（休館日を含む。）を越えて使用することはできない。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(平15教委規則 3・追加、平25教委規則 6・平27教委規則 2・平30教委規則 8・一部改正)

(休館日)

第6条 公民館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日（月曜日が休日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。以下同じ。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

- (2) 12月29日から翌年1月3日まで

- 2 図書室については、前項に定めるもののほか特別整理期間として次のとおり休館することができる。

- (1) 室内整理日は次のとおりとする。ただし、当該木曜日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日とする。

ア 西部公民館、東部公民館、北部公民館及び天明公民館 毎月第2木曜日

イ 花園公民館、飽田公民館、幸田公民館、託麻公民館及び清水公民館 毎月第3木曜日

ウ 五福公民館、河内公民館、南部公民館、秋津公民館及び龍田公民館 毎月第4木曜日

(2) 特別整理日（毎年7日以内）

（昭62教委規則7・追加、平13教委規則10・平14教委規則13・一部改正、平15教委規則3・旧第5条繰下・一部改正、平15教委規則11・平18教委規則1・平19教委規則8・平20教委規則16・平27教委規則10・平30教委規則8・一部改正）

（分館）

第7条 熊本市公民館条例（昭和43年条例第16号。以下「条例」という。）第2条第2項の規定に基づき、本市に分館を設置する。

2 分館の開館時間及び休館日については教育委員会が別に定める。

（平3教委規則4・追加、平15教委規則3・旧第6条繰下、平22教委規則7・平24教委規則17・平30教委規則8・一部改正）

（名称及び位置）

第8条 分館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
熊本市北部公民館北部東分館	熊本市北区鶴羽田2丁目13番9号
熊本市北部公民館西里分館	熊本市北区下碓川町1798番地

（平3教委規則4・追加、平3教委規則6・一部改正、平15教委規則3・旧第7条繰下、平22教委規則7・平24教委規則7・平24教委規則17・平25教委規則11・平26教委規則7・一部改正）

（使用者の登録）

第9条 条例第3条第1項の規定により公民館及び分館の施設及び附属設備（トレーニング室、ロッカー、駐車場及び駐輪場を除く。以下「施設等」という。）の使用の許可を受けようとする者は、あらかじめ公民館使用者登録申請書を教育委員会に提出するものとする。

2 教育委員会は、前項の申請書が提出された場合において、使用者の登録をしたときは、使用者登録の完了を申請者に通知するものとする。

3 前項の規定による登録を受けた者は、第1項の申請書に変更が生じたときは、速やかに教育委員会に届け出るものとする。

（平22教委規則7・追加、平25教委規則6・平30教委規則8・一部改正）

（施設等の使用の手続）

第10条 公民館及び分館の施設等の使用の許可を受けようとする者は、公民館使用許可申

請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 前項に規定する申請書の受付は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める日から行うものとする。ただし、教育委員会が特に認めた場合は、この限りでない。

(1) 団体が条例別表第1(1)会議室、料理実習室及びホール使用料の表及び別表第2に規定する施設等を1時間単位の使用時間区分により使用する場合 使用しようとする日の属する月の前々月の初日

(2) 団体が前号に掲げる使用以外の使用をする場合 使用しようとする日の4月前の日が属する月の初日

(3) 個人が使用する場合 使用しようとする日の14日前の日

- 3 教育委員会は、第1項の申請書を審査し、施設等の使用を適当と認めたときは、当該申請者に公民館使用許可書兼領収証を交付するものとする。

- 4 前3項の規定にかかわらず、インターネット又は街頭端末機を利用する方法による公民館施設の使用手続については、別に定めるところによるものとする。

(平6教委規則11・全改、平15教委規則3・旧第8条繰下・一部改正、平17教委規則3・一部改正、平22教委規則7・旧第9条繰下・一部改正、平25教委規則6・平30教委規則8・令4教委規則17・令4教委規則18・一部改正)

(トレーニング室及びロッカーの使用の手続)

第10条の2 トレーニング室及びロッカーの使用の許可を受けようとする者は、教育委員会が別に定める方法により申込みを行わなければならない。

- 2 トレーニング室の使用許可は、個人使用券の交付をすることにより、ロッカーの使用許可は、教育委員会が別に定める方法により行う。

(平30教委規則8・追加)

(駐車場及び駐輪場の使用の手続)

第10条の3 駐車場を使用しようとする者が入庫後車両を駐車し、駐車用の機器により当該車両が施錠されたときは、教育委員会への使用の申請及びその許可があったものとみなす。

- 2 前項の許可を受けた者は、出庫の際、自動精算機にて使用料を納付しなければならない。
- 3 駐輪場を使用しようとする者が入場後自転車又は原動機付自転車(以下「自転車等」という。)を駐車し、駐車用の機器により当該自転車等が施錠されたときは、教育委員会への使用の申請及びその許可があったものとみなす。
- 4 前項の許可を受けた者は、出場の際、自動精算機にて使用料を納付しなければならない。

(平30教委規則 8・追加)

(使用中止の届出)

第11条 公民館及び分館の施設等の使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が、使用開始前に使用をとりやめようとするときは、公民館使用中止届出書を教育委員会に提出しなければならない。

(平13教委規則21・追加、平15教委規則 3・旧第 9 条繰下・一部改正、平22教委規則 7・旧第10条繰下・一部改正、平30教委規則 8・一部改正)

(使用許可の変更)

第12条 使用者が使用許可に係る事項を変更しようとするときは、公民館使用許可変更申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 使用開始前に使用許可に係る使用日時や施設を変更しようとする者は、1 回に限り前項に規定する申請をすることができる。

3 使用者は、使用許可の変更後の使用料が既納の使用料を上回るときは、使用許可の変更後の使用料から既納の使用料に相当する額を控除した額を次条に規定する許可を受ける際に納めなければならない。なお、下回るときは差額は返還しない。

(平22教委規則 7・追加、平30教委規則 8・一部改正)

(使用変更許可書の交付)

第13条 教育委員会は、前条の規定による変更申請に相当の理由があると見られ、当該変更申請を許可したときは、公民館使用変更許可書兼領収証を使用者に交付するものとする。

(平22教委規則 7・追加、平25教委規則 6・平30教委規則 8・一部改正)

(室の基準)

第14条 公民館及び分館を使用する場合の室の基準は、次のとおりとする。

室名	面積
大会議室	55m ² 以上200m ² 未満
中会議室	40m ² 以上55m ² 未満
小会議室	40m ² 未満
ホール	200m ² 以上

(平 3 教委規則 4・追加、平13教委規則21・旧第 9 条繰下、平14教委規則13・一部改正、平15教委規則 3・旧第10条繰下・一部改正、平22教委規則 7・旧第11条繰下)

(用務先からの確認)

第14条の2 熊本市中央公民館に用務のため来所して駐車場又は駐輪場を使用する者は、当該用務先でその旨の確認を受けたことの証明の交付を受けなければならない。

(平30教委規則 8・追加)

(駐車時間)

第14条の3 駐車場の使用料を算出するための駐車時間は、駐車用の機器により車両が施錠された時刻から出庫の際に自動精算機により精算した時刻までの時間とする。

2 駐輪場の使用料を算出するための駐車時間は、駐車用の機器により自転車等が施錠された時刻から出場の際に自動精算機により精算した時刻までの時間とする。

(平30教委規則 8・追加)

(原状の回復)

第15条 公民館及び分館の使用を終わったときは、使用した場所及び備品を原状に回復しなければならない。

(昭62教委規則 7・旧第7条繰下、平3教委規則 4・旧第8条繰下・一部改正、平13教委規則21・旧第10条繰下、平14教委規則12・平14教委規則13・一部改正、平15教委規則 3・旧第11条繰下、平22教委規則 7・一部改正、平22教委規則 7・旧第12条繰下、平30教委規則 8・一部改正)

(使用者の遵守事項)

第16条 使用者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 収容人員は、使用施設の定員を超えないこと。
- (2) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (3) 許可を受けた場合を除き、公民館内で物品を展示し、販売し、又はこれに類する行為をしないこと。
- (4) 使用許可を受けない室及び器具を使用しないこと。
- (5) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる物品又は動物類（身体障害者補助犬を除く。）を携帯しないこと。
- (6) 他人に迷惑をかける行為をしないこと。
- (7) その他風紀及び秩序を乱さないこと。

(平15教委規則 3・追加、平22教委規則 7・旧第13条繰下)

(指定申請書に添付する書類)

第16条の2 条例第11条第1項に規定する教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 収支予算書
- (2) 当該団体の定款又は寄附行為の写し及び登記事項証明書（法人以外の団体にあつては、当該団体の目的、組織、運営等を明らかにした会則、規約その他の書類）
- (3) 当該団体が条例第11条第1項の規定による申請を行う日の属する事業年度の直前の3事業年度に係る当該団体の貸借対照表、損益計算書、利益処分に関する書類及び財産目録（これらの書類を作成する義務がないものにあつては、これらに類する書類）
- (4) 条例第11条第2項第4号に掲げる基準を満たすことを説明する書類
- (5) 市税滞納有無調査承諾書
- (6) 都道府県労働局等が発行する労働保険料に係る納付証明書
- (7) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

（平30教委規則8・追加）

（書類等の様式等）

第16条の3 この規則の規定により使用する書類等（前条各号に掲げるものを除く。）に記載すべき事項及びその様式は、教育委員会が別に定めるところによる。

- 2 前項の様式のうち市民が作成する書類に係るものは、市のホームページへの掲載その他の方法により公表するものとする。

（平30教委規則8・追加）

（委任）

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

（平6教委規則11・追加、平13教委規則21・旧第11条繰下、平15教委規則3・旧第12条繰下、平22教委規則7・旧第14条繰下）

附 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

（平20教委規則16・旧附則・一部改正）

（下益城郡富合町の編入に伴う経過措置）

- 2 下益城郡富合町の編入の日前に、旧富合町公民館条例施行規則（平成18年教育委員会規則第1号。）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされたものとみなす。

（平20教委規則16・追加）

- 3 富合公民館図書室の月曜日から金曜日（休日を除く。）の開館時間については、第5条の規定にかかわらず、平成25年10月5日までの間、午前9時30分から午後7時までとす

る。

(平20教委規則16・追加)

附 則(昭和41年6月16日教委規則第9号)

この規則は、昭和41年7月1日から施行する。

附 則(昭和47年7月17日教委規則第6号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和51年7月26日教委規則第9号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和52年6月30日教委規則第5号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和57年10月28日教委規則第5号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和62年4月27日教委規則第7号)

この規則は、昭和62年5月1日から施行する。

附 則(平成3年2月1日教委規則第4号)

この規則は、平成3年2月1日から施行する。

附 則(平成3年3月1日教委規則第6号)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成5年3月26日教委規則第4号)

この規則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則(平成6年11月30日教委規則第11号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成7年4月1日教委規則第14号)

1 この規則は、平成7年4月1日から施行する。

2 熊本市教育委員会職員身元保証規則(昭和29年教委規則第5号)、守衛服務規程(昭和28年教委訓令第2号)、学校養護婦服務規程(昭和31年教委訓令第6号)及び学校当直規程(昭和28年教委訓令第8号)は、廃止する。

附 則(平成7年4月25日教委規則第18号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成11年3月29日教委規則第17号)

1 この規則は、公布の日から施行する。

- 2 この規則による改正前の熊本市公民館条例施行規則に定める様式に基づいて作成された用紙は、当分の間、必要な調整をして使用することができる。

附 則（平成11年4月1日教委規則第22号）

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成12年3月29日教委規則第6号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成13年3月30日教委規則第10号）

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成13年6月1日教委規則第21号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年3月29日教委規則第5号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年9月27日教委規則第12号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年9月30日教委規則第13号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成15年3月27日教委規則第3号）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

- 2 この規則による改正前の熊本市公民館条例施行規則に定める様式に基づいて作成された用紙は、当分の間、必要な調整をして使用することができる。

附 則（平成15年7月25日教委規則第11号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成17年3月30日教委規則第3号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成18年2月23日教委規則第1号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成19年6月27日教委規則第8号）

この規則は、公布の日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則（平成20年3月25日教委規則第8号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年10月1日教委規則第16号）

この規則は、平成20年10月6日から施行する。

附 則（平成22年3月19日教委規則第7号）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成22年10月1日から施行する。ただし、第7条及び第8条の改正規定並びに第12条の改正規定（同条を第15条とする部分を除く。）は、平成22年3月23日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則（前項ただし書に規定する改正規定を除く。）による改正後の第9条から第13条までの規定は、平成22年10月1日以後の使用許可の申請について適用し、同日前の使用許可の申請については、なお従前の例による。
- 3 この規則（前項ただし書に規定する改正規定に限る。）の施行の日から平成22年9月30日までの間における熊本市城南公民館又は熊本市植木公民館及びその分館の使用に係る熊本市公民館条例施行規則第9条第2項の規定の適用については、同項中「前月」とあるのは、熊本市城南公民館にあつては「3月前」と、熊本市植木公民館及び分館にあつては「前々月」とする。

附 則（平成24年1月26日教委規則第7号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成24年9月28日教委規則第17号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年4月30日教委規則第6号）

この規則は、平成25年7月1日から施行する。

附 則（平成25年10月30日教委規則第11号）

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成26年10月28日教委規則第7号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成27年1月27日教委規則第2号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月20日教委規則第10号）抄

（施行期日）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成30年6月29日教委規則第8号）

この規則は、熊本市公民館条例の一部を改正する条例（平成30年条例第16号。附則本文に係る部分を除く。）の施行の日から施行する。

附 則（令和4年12月27日教委規則第17号）

改正 令和4年12月27日教委規則第18号

この規則は、公布の日から施行する。

（令4教委規則18・全改）

附 則（令和4年12月27日教委規則第18号）

この規則は、公布の日から施行する。

別表（第5条第3項関係）

（平27教委規則2・追加、平30教委規則8・一部改正）

施設名	使用できる時間
会議室、料理実習室、ホール	午前9時から午後10時まで
図書室（熊本市中央公民館図書室を除く。）	午前9時30分から午後5時まで
熊本市中央公民館図書室	1 火曜日から土曜日まで（休日を除く。） 午前9時30分から午後8時まで 2 日曜日及び休日 午前9時30分から午後6時まで
児童室	午前9時から午後5時まで
テニスコート	午前9時から午後6時まで
陶芸室	午前9時から午後10時まで（作品の存置のために使用する場合は、翌日午前9時まで）
トレーニング室、ロッカー	午前9時から午後9時まで
駐車場、駐輪場	開館時間中